



令和3年度まとめ

学校アンケート

千葉市立高洲第三小学校

学校が楽しい 88%←前期 90%



保護者 97%←98%
先生 96%←96%



なかよくできた 95%←94%



保護者 97%←97%
先生 96%←96%



わかった！ 93%←90%



保護者 91%←90%
先生 93%←96%



すすんで学んだ 78%←79%



保護者 78%←77%
先生 92%←96%



体力づくりができた



86% 保護者 88%←76%
←82% 先生 77%←70%



時間を守れた



90% 保護者 82%←77%
←90% 先生 84%←90%



手伝い・掃除ができた



84% 保護者 83%←76%
←86% 先生 88%←86%



あいさつができた



87% 保護者 85%←87%
←87% 先生 68%←70%



保護者の皆さんに伺いました



情報がわかりやすい



相談しやすい



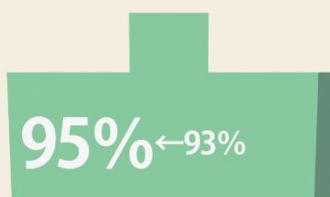
いじめ防止の取組

89%←86%



そう思わない
11%←14%

95%←93%



そう思わない
5%←7%

94%←93%



そう思わない
6%←7%

＜アンケートの集計結果＞

・「思う」「だいたい思う」「あまり思わない」「思わない」の4段階評価

回答数： 児童 349名 教職員 25名 保護者 278名
(回収率 80%)

学 校 が 楽 し い

児童88%・保護者97%・教職員96% (低学年 95%・中学年 91%・高学年 77%)

→1月からはまん延防止等重点措置地域指定となり、卒業や進級にまつわる行事に制限がかかったことが、子どもたちとおとなの意識の差につながったと推測されます。

学年が上がるにつれ、手放して「楽しい」とは言えない傾向が見られました。児童が「楽しい」と感じられる学校生活を構築するため、ギガタブの利用をはじめ工夫を重ねてまいります。学校と家庭が連携できるよう今後ともよろしくお願いいたします。

仲 良 く で き た

児童95%・保護者97%・教職員96% (低学年 94%・中学年 94%・高学年 95%)

→「相手の気持ちを想像すること」「意見に折り合いをつけること」「謝ることや許すこと」などは大切な経験です。日々の担任との会話、教育相談週間や、スクールカウンセラーとの面談などを充実させ、子どもたちに寄り添い、保護者のみなさまと連携して社会性や人間性の発達を支援します。

わ か っ た ! (学習内容の理解)

児童93%・保護者91%・教職員93% (低学年 93%・中学年 97%・高学年 86%)

す す ん で 学 ん だ (学 習 意 欲)

児童78%・保護者78%・教職員92% (低学年 87%・中学年 82%・高学年 63%)

→学習内容の理解について、児童の自己評価は前期を3%上回っています。反面、学習意欲については肯定的な回答が78%にとどまっており、ここに本校の課題があることがわかります。学年が進むにつれ学習は内容が深まり、量は増加します。意欲や興味・関心の高さは学習の基盤です。できうる限り個別最適化する指導を心がけ、授業改善に取り組みます。ご家庭でも家庭学習の習慣化等、変わらずご支援ください。

体 力 づ く り が で き た

児童 86%・保護者 88%・教職員 77% (低学年 90%・中学年 92%・高学年 75%)

→肯定的回答の割合が、前期より4～8%向上しています。感染拡大が一時落ち着いたことで、生き生きと活動に臨む児童の姿が見られました。高学年の児童はもっと体を動かしたいと感じていたことがわかります。今後も安全面に十分留意しつつ、体力向上に努めます。

挨 拶 で き た

児童 87%・保護者 85%・教職員の 68% (低学年 88%・中学年 90%・高学年 80%)

→「朝の挨拶運動」が再開されました。マスク越しで声が届かない時は軽く会釈をする児童もあり、それぞれが挨拶の仕方を工夫しています。挨拶ができる子供たちを育てるにはまず大人から。家庭でも学校でも私たちから積極的に挨拶をしていきましょう。

手 伝 い ・ 掃 除 が で き た

児童 84%・保護者 83%・教職員の 88% (低学年 85%・中学年 88%・高学年 78%)

→本校の児童は進んで手伝いや掃除ができると感じています。高学年で数値が低い要因として児童会活動等に制限があることも考えられます。身近な人達から、やがては社会で必要とされる「利他的」な意識を育てるよう指導します。

時 間 を 守 れ た

児童 90%・保護者 82%・教職員の 84% (低学年 95%・中学年 91%・高学年 85%)

→前期から児童の肯定感が変わらず、教職員が6%減、保護者が3%増となっています。本校では時間を自己管理できるよう指導しています。今後も登校時間に始まり、休み時間から授業への切り替え、ご家庭での就寝時間や起床時間など、生活の中で指導を継続していくことが大切です。

【ここからの設問は保護者のみの調査】

学校からの情報発信がわかりやすい 89%の肯定的回答をいただきました。

→今年度より学校連絡メールが「すぐる」に変更され、添付ファイルが利用できるなど、より多くの情報を提供できるようになりました。「すぐる」や学校ホームページ、おたより等の様々な媒体を通して、わかりやすい情報を提供していきます。

学校への相談のしやすさ・いじめのない学校づくり 両項目とも94～95%肯定的な回答を頂きました。

→今後も、ご家庭と連携を取り子どもたちの安心で安全な学校づくりに努めます。

【自由記述設問での御意見】

自由記述欄に38名の方からご意見をいただきました。全てのご要望にお応えすることは難しいのですが、よりよい学校、開かれた学校をめざして、皆様と一緒に考えてまいります。なお、自由記述の中には本校の取り組みや教職員に対して、33名の方からお褒めの言葉や励ましのお言葉をいただきました。これを励みに引き続き努力してまいります。ありがとうございました。

Q 児童の生活の様子から（一部抜粋もあります）

- ・初めての小学校での生活や学習を毎日楽しく送れていることを嬉しく思います。
- ・勉強面もありますが、コロナ感染症やその対策について子供たちや保護者にもわかりやすく、理解しやすい言葉、書き方(プリント)で良いと思いました。
- ・進んで、考えて、行動にうつす。社会人になっても大切なことと思います。
- ・子供の様子からコロナ禍の制約がある中でも、精いっぱい充実した日々を過ごしているようです。
- ・子供のチャレンジしたいという積極性を上手に引き出してくださっていると思います。
- ・子供のペースを大事に、寄り添ったサポートに日々感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・日々びっくりするくらいいろいろな面で成長していると感じています。
- ・コロナ感染者の人数の報告が始まり、不安を覚えた。
- ・運動会のゴールの位置を逆にすると見やすくなるのではないかな。
- ・ギガタブの今後の有効活用を期待する。
- ・コロナ禍で行事の中止などあり、子供の様子を見ることができなかったのが残念だった。早くこの状況が終息してほしい。
- ・学習用具の準備のお知らせの詳細がわかりづらいことや、期日が短い時があったので、低学年は詳細をわかりやすく知らせてほしい。
- ・アンケート評価の比較をわかりやすくしてほしい。（例：経年変化など）
- ・一人で過ごせる休み時間の居場所がほしい。

以上、ご不明な点がございましたら、教頭 関屋までお願いいたします。